

東京家政大学 人間生活学総合研究科 解答、解答例、解答ポイント

年度	令和7年度
入試区分	1期
専攻名	教育福祉学専攻
入試制度	一般
試験科目	専門科目
解答、解答例、解答ポイント	
<p>問1</p> <p>A) ベックは、自動思考、スキーマ、体系的な推論の誤りという3つの概念を用いて、ネガティブな出来事が抑うつ症状の表出に結びつくプロセスを説明している。自動思考とは、ある出来事をきっかけに自動的に意識が上がってくる思考やイメージのことである。スキーマとは、自動思考の内容を方向づけるものであり、個人に特有の信念や態度のことである。ベックは、抑うつ傾向の高い人では、出来事を選択的にネガティブなものとして捉える認知的傾向が備わっていると考えた。ネガティブな出来事は抑うつスキーマを活性化させ、体系的な推論の誤りを導く。体系的な推論の誤りとは認知の歪みであり、現実に対する客観性や論理性を欠いた解釈である。そのため、抑うつ的な自動思考が生じ、この自動思考が客観的な事実であるかのように認識されることで抑うつ気分が生じると考えられる。ベックは、うつ病患者の自動思考には、「自分自身」「自分を取り巻く環境」「自分の将来」について否定的に解釈する特徴がみられるとし、これを抑うつ認知の三徴（認知の三徴）と呼んでいる。例として、「ある試験の結果がよくなかった」というネガティブな出来事が抑うつ気分に関与する過程を、ベックの抑うつ理論によって説明する。ネガティブな出来事によって「失敗したら終わり」といった抑うつスキーマが活性化され、「自分は何をやってもうまくいかなかった」といった体系的な推論の誤りが生じる。その結果、「自分はだめだ」「自分には価値がない」といった自動思考が意識に上がり、抑うつ気分が生じる。</p> <p>B) フロイトは、睡眠下では抑圧の力が弱まり、無意識に抑圧されていた欲求が表出しやすくなると考え、夢を無意識の現れとして捉えた。そして、「夢判断は無意識的なものを知るための王道である」と述べている。しかし、夢には無意識に抑圧されていた欲求がそのまま現れるわけではなく、その内容は歪曲された形で表出する。なぜなら、無意識に抑圧された内容は、意識に上ると不快で耐えがたいものであるためである。無意識に抑圧された内容である潜在思考が、私たちが覚えている夢の内容である顕在夢へと変換される過程は、夢の作業と呼ばれる。夢の作業の代表的な過程として、圧縮、移動、劇化、二次加工が挙げられる。圧縮とは、潜在思考に含まれる要素が省略されたり断片化されたりするほか、複数の要素が合併・凝縮されて表現されることである。例えば、顔はAさんであるが体はB君であるといった人物が夢に現れる場合などがこれに該当する。移動とは、潜在思考における感情や意味の焦点が別の要素へとずらされ、本来は重要ではない要素がカムフラージュとして強調されることである。例えば、実際には自分が怒りを感じているにもかかわらず、夢の中では相手が怒っていると感じるような場合が挙げられる。劇化とは、観念や思考が視覚的なイメージへと置き換えられて表現されることである。最後の二次加工とは、目覚めた際に夢をそのまま想起するのではなく、物語として筋が通るように再構成される過程を指す。フロイトは、子どもの夢は歪曲の程度が比較的少ないと考え、子どもの夢の観察を通して研究を進め、夢の作業という夢形成のメカニズムを提唱した。</p>	

東京家政大学 人間生活学総合研究科 解答、解答例、解答ポイント

年度	令和7年度
入試区分	1期
専攻名	教育福祉学専攻
入試制度	一般
試験科目	専門科目
解答、解答例、解答ポイント	
<p>問2</p> <p>① うつ病患者の脳内では、モノアミンと呼ばれる種々の神経伝達物質の枯渇が生じているため、モノアミン作動性システムが異常をきたしているという考え方のこと。</p> <p>② 心身症とは、日本心身医学会によると「身体疾患の中で、その発症や経過に心理社会的因子が密接に関与し、器質的ないし機能的障害が認められる病態をいう。ただし神経症やうつ病など、他の精神障害に伴う身体症状は除外する」と定義されている。</p> <p>③ 心理的アセスメントにおけるインフォームドコンセントは、アセスメントを実施するにあたって、アセスメントの対象者にアセスメントで行う八内容や時間的・金銭的コスト、アセスメントで得られた情報の利用目的、アセスメントの実施者の資格などについて説明し、同意を得る作業である。</p> <p>④ レジリエンスとは心理的な傷つきや落ち込みから立ち直る回復力のことであり、厳しいストレスにさらされても心身の健康を害することの少ない人が持っている特性をハーディネスという</p> <p>⑤ 夢の出来事が日常とほとんど同じであるため、夢見手自身が、まるで覚醒し意識していると感じる夢のこと</p> <p>⑥ 効果量とは独立変数の従属変数に対する効果の程度をあらわす指標のことである。群間差についての効果量であるd族の効果量と変数間の関係の大きさをあらわす効果量であるr族の2つの種類に大きく分類できる。</p> <p>※ 参考文献</p> <p>岩壁茂・遠藤俊彦・黒木俊英他 (2023). 臨床心理学 スタンダードテキスト 金剛出版</p> <p>金沢吉展(編) (2021). 健康・医療心理学 講談社</p> <p>大久保街亜・岡田謙介 (2012). 伝えるための心理統計 勁草書房</p> <p>立木康介 (2024). 100分de名著 NHK出版</p> <p>平野真理 (2012). 心理的敏感さに対するレジリエンスの緩衝効果の検討 教育心理学研究, 60, 343-354.</p> <p>門利・堀家・田島 (2020). ハーディネス・レジリエンスの組み合わせとストレスとの関係 日本健康心理学会大会発表論文集, 33, 9</p> <p>相馬・板口(編) (2024). 臨床心理学 講談社</p>	